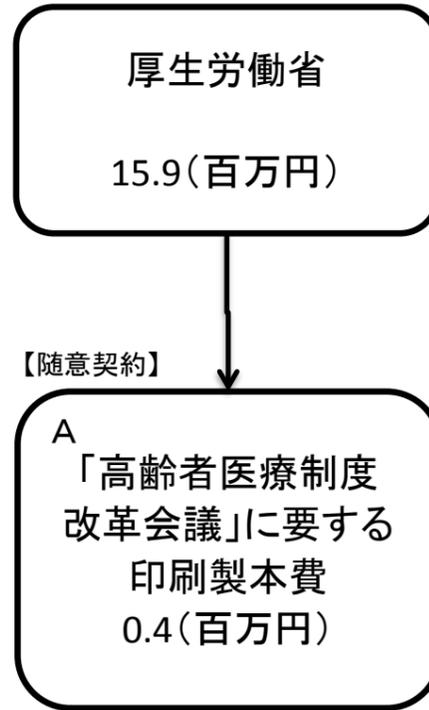


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	「高齢者医療制度改革会議」の開催等に要する経費		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	高齢者医療課	横幕 章人		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働大臣の主宰により、関係団体の代表、高齢者の代表、学識経験者からなる「高齢者医療制度改革会議」を開催し、後期高齢者医療制度廃止後の新たな制度の具体的なあり方について検討を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○平成21年11月に第1回目を開催し、平成22年12月までに計14回の会議を開催。 (平成21年度:第1回～第4回、平成22年度:第5回～第14回)</p> <p>○委員約20名に出席いただき、省内省議室等にて開催。</p> <p>○平成22年12月開催の第14回目の会議にて、高齢者のための新たな医療制度等についての最終とりまとめを行った。</p> <p>○改革会議と並行し、国民の意識調査、地方公聴会を開催。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算			13.3		
		繰越し等					
		計			13.3		
	執行額			2.6	15.9		
	執行率(%)			-	120		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	新たな医療制度の具体的な在り方についてとりまとめ		成果実績	-	-	最終とりまとめ	-
			達成度	%	-	-	100
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動実績		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	高齢者医療制度改革会議の開催回数		開催回数 (当初見込み)	-	4	10	-
				-	-	(12)	(-)
単位当たりコスト	0.75(百万円/回)		算出根拠	会議1回の開催に要した費用 (執行額/会議開催回数)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
				平成22年度中に、最終とりまとめを実施したため、今後本会議を開催する予定は無い。			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・ 状況・ 予算の 状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	制度施行当初より混乱が起きたことから、現行制度廃止後の具体的な在り方の検討は、広く国民が求めてきたところである。 当初は会場を借り上げ、会議を開催する予定であったが、改革会議は省内会議室等を使用できたこと、地方公聴会は可能な限り安い会場を使用したことから、不用率が高くなっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	省内会議室の活用等、会議開催にかかる費用の削減に努めた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績、 成果 実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	/
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	<p>審議にあたっては、厚生労働大臣より示された6つの原則を踏まえ、現行制度廃止後の新たな制度の在り方について議論を重ねた。          本会議と平行し、中間とりまとめを公表するとともに、国民の意識調査、地方公聴会を開催し、国民への情報提供や意見を集約する取組を実施した。          最終とりまとめでは、新たな制度の基本的枠組みや財政運営等について、とりまとめを行った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

# 「高齢者医療制度改革会議」の開催等に要する経費のフロー



※ うち事務費 15.5百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.宮嶋印刷(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮嶋印刷(株)	印刷製本費	0.4	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					